

# H30年度 教職員業務改善モデル事業

～学校現場の業務改善に係る意見交換会及び成果報告会の結果～

義務教育課

県教育委員会では、29年度に引き続き、「愛媛県教職員業務改善モデル事業」を実施し、新居浜市・西条市・松前町（新規）をモデル地域として実践研究に取り組みました。

また、市町教育委員会関係者が参加する意見交換会及び成果報告会を開催し、それぞれの取組状況や成果の共有を図りました。

## <意見交換会> H30. 6. 13

### ○各市町教育委員会から効果的であるとの報告があった取組

- ・ 学校閉庁日の設定（H30年度は全ての市町が設定）
- ・ 校務支援システムの導入
- ・ 部活動休養日の設定
- ・ エアコンの設置 など



## <成果報告会> H31. 2. 1

### ○松前町（H30～）

《取組》 学校マネジメント強化のための研修

- ・ チーム学校の構築等の具体的な方法や働き方改革のポイント等を研修

《成果》 研修等の実施により、業務改善と教職員の働き方の意識改革について、具体的な方策が明らかになり各学校の実践に結びついた。

### ○新居浜市（H29～）

《取組》 チーム学校としての機能強化

- ・ 社会福祉士や民間教育事業者と連携して問題を抱える児童生徒や保護者、家庭への支援実施。コミュニティースクールの導入。

《成果》 専門スタッフの活用により、学校では対応できなかった部分への対応が可能となり、専門的なアドバイスにより、問題の解決に大きな効果があった。

コミュニティースクールの導入も業務改善に有効なツールとなる。

### ○西条市（H29～）

《取組》 I C Tの活用による校務支援、モデル校での実践

- ・ 統合型校務支援システムとテレワークシステムの導入。結果の見える現場実践。

《成果》 校務の効率化が図られるとともに、ライフスタイルに合わせた多様な働き方に対応できるようになった。モデル校において教職員が積極的にアイデアを出し取組を進めることにより実感を伴った業務改善となった。

### ○各市町教育委員会から効果的であるとの報告があった取組

- ・ スクール・サポート・スタッフの配置
- ・ 校務支援システムによる校務の効率化
- ・ 市独自の職員の配置
- ・ 定時退勤日の設定
- ・ コミュニティースクールの導入
- ・ 教育相談員等の専門スタッフによる支援体制の構築

など



成果報告会  
県及び市町教育委員会出席、マスコミ公開